

製品名: CD4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86209**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:51 kDa; Observed MW:51 kDa

抗原情報

遺伝子名	CD4
別名	L3T4; Ly-4
遺伝子 ID	12504, 24932
SwissProt ID	P06332, P05540
免疫原	マウス CD4 の合成ペプチド

背景

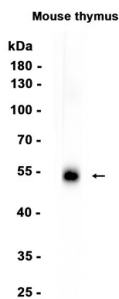
インターロイキン-16 結合活性、インターロイキン-16 受容体活性、タンパク質ホモ二量体形成活性など、複数の機能を発揮すると予

測される。適応免疫応答におけるヘルパー T 細胞増強に関与する。グラム陰性菌に対する防御応答、カルシウム介在性シグナル伝達の正の調節、ペプチジルチロシンリン酸化の正の調節など、複数のプロセスの上流または内部で作用する。小胞体、細胞膜外面、膜ラフトに局在する。消化器系、脳、泌尿生殖器系、血リンパ系、肝胆系など、複数の組織で発現する。1 型糖尿病の研究に用いられる。この遺伝子のヒト相同遺伝子は免疫不全症 79 に関与することが示唆されている。ヒト CD4 (CD4 分子) と相同性を有する。
[Alliance of Genome Resources 提供、2022 年 4 月]

研究分野

-

画像データ



CD4 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス胸腺組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。